(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2008-173106
(P2008-173106A)
(43)公開日　平成20年7月31日(2008.7.31)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A01C 11/00	(2006.01)	A01C	11/00	A	2B054
A01C 7/00	(2006.01)	A01C	7/00	D	2B060

審査請求 未請求　請求項の数 3　書面　（全 5 頁）

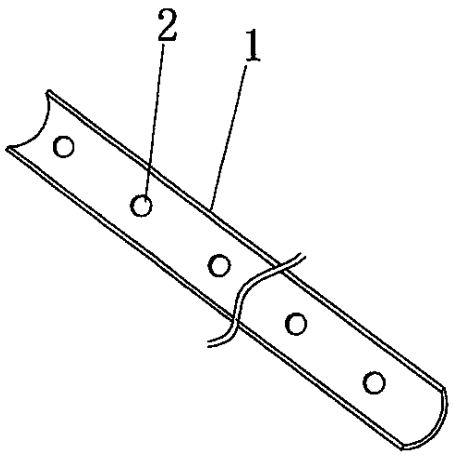
(21)出願番号　特願2007-37096(P2007-37096)
(22)出願日　平成19年1月19日(2007.1.19)

(71)出願人　591183337
高田　津木男
福井県鯖江市田村町２－８
(72)発明者　高田　津木男
福井県鯖江市田村町２－８

Ｆターム(参考)　2B054 AA04　AA05　BA01　BB01　CA01
2B060 AA08　AB03　AE01　BA01

(54)【発明の名称】Ｕの字形定植位置器具

(57)【要約】
【課題】　近年は家庭菜園をされて楽しむことが日常となっている中で野菜の苗植えされてもなかなか綺麗に整列されていないのが現状、この様なことを誰もが簡単に整列して定植することを可能にするU字形定植位置器具（１）を提供する。
【解決手段】図１に示すように給水管及び配水管などを２ツ割りにしたU字形状態のそこの中心部分に径約２５φ位の穴（２）を長手方向に一定間隔で開けたU字形定植位置器具（１）を作る、菜園使用とする畝（３）の上にU字形定植位置器具（１）を図２のように置く、この場合U字形定植位置器具（１）全体を押さえて土に少し沈める、種を蒔く時は３～４粒を穴（２）のところに置く、又苗の場合は穴（２）の所に剣先ピン（７）でもって押し刺して穴（１０）を開けるU字形定植位置器具（１）をはずして穴（１０）の所に苗を差して土を寄せて苗を固める、こうする事で苗、種ともに綺麗に整列する。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
給水管又は配水管約５０φ程度を２ツ割りにした、戸ゆう受け状態のＵ字形の底中心部に約２５φ位の穴（２）を長手方向に約１０ｃｍ間隔で開けてある器具を特徴とするＵの字形定植位置器具。
【請求項２】
Ｕの字形定植位置器具（１）の長さは扱いやすい持ち運びし安くするのに、１ｍ、１．５ｍ、２ｍ、２．５ｍに加工したものを特徴とする、しかし長さには限定しない、Ｕの字形定植位置器具。
【請求項３】
請求項１に記載したＵの字形定植位置器具（１）を実施の際に苗植えの場合に畝に一定間隔に穴を開けるための剣先ピン（７）を特徴とする。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、家庭菜園において野菜苗、及び種蒔する時の整列定植に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来の家庭菜園においては一般には目安で苗植え、種蒔をされていることが多い、たまには紐か縄を張って、縄に沿って適当に苗植え、種蒔をされている、しかしこれでは綺麗に揃わないので綺麗な畑にならない、楽しみが薄れると言う欠点があった。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
最近は休日が多くなりな家庭菜園を楽しんでおられるのが現状である、そんな中種蒔、苗植えされても綺麗に整列されていないようです，ここで誰もが田植え、種蒔を綺麗に整列定植、種まきを容易に可能にすることを解決の課題とする。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
本発明は給水管及び配水管の約５０φ位を縦長に２ツ割りにする、雨戸ゆの状態つまりＵの字にした底中心部に約２５φの穴（２）を　長手方向に１定間隔で開けたＵ字形定植位置器具（１）作る、
そうして畑を耕し畝（３）を作った、畝（３）上にＵ字形定植位置器具（１）を置き少し軽く叩いてＵ字形定植位置器具（１）を１５ｍｍ程度沈める、次に　Ｕ字形定植位置器具（１）の穴の所に種（１２）を好みの数だけパラパラと蒔く。
【０００５】
又苗植えの場合はＵ字形定植位置器具（１）の穴（２）中心に、剣先ピン（７）で押し刺していきます、刺し終えたらＵ字形定植位置器具（１）を取り除き、畝のところには１定間隔に穴が開いており、その畝の穴が開いたところえ苗（９）を入れて土を寄せて土を固めます、綺麗に整列することで解決するための手段とする。
【発明の効果】
【０００６】
本発明はＵ字形定植位置器具（１）を使用することにより、簡単に確実に苗植え、種蒔が可能にするものである整列して野菜が育つので畑が美しく見栄えが良くて楽しい家庭菜園になる大きな効果がある。
【発明を実施するための最良の形態】
【０００７】
本発明のＵ字形定植位置器具（１）は給水管及び配水管を立て２ツ割にしたものを用いる、Ｕ字形の底中心部に径約２５φ位の穴（２）を長手方向に１定間隔で穴あけする、Ｕ字形定植位置器具（１）の全体の長さは１．５ｍ、２ｍ、２．５、と製作しておき、実施

の場合畑の畝の長さと使い易さに応じる、例えば畝の長さが３ｍあるなら１．５ｍのＵ字形定植位置器具（１）を二回繰り返して使用する。

【実施例】

【０００８】

又図２で示すように畑を耕して畝を作りその畝（３）の上にＵ字形定植位置器具（１）を置き軽く少し叩くか押さえて沈める、Ｕ字形定植位置器具（１）の穴（２）の開いたところに種を３～４個ばら蒔く、又苗の場合はＵ字形定植位置器具（１）の穴（２）の中心を剣先ピン（７）で押し刺していくＵ字形定植位置器具（１）を取り除きくその後には剣先ピン（７）で刺した穴が開いているのでそこに苗（９）を入れて土を寄る、Ｕ字形定植位置器具（１）を使用することにより苗、種ともが芽生えた時は綺麗に整列しているために美しい畑作りになる。

【図面の簡単な説明】

【０００９】

【図１】　給水管及び配水管を縦て２ツ割にして一定間隔に穴あけしたＵ字形定植位置器具（１）

【図２】　Ｕ字形定植位置器具（１）を畝の上に置いた斜視図

【図３】　Ｕ字形定植位置器具（１）を畝の上に置いて（２－１）は剣先ピン（７）で刺したもの、（２－２）種を蒔いた状態斜視図

【図４】　剣先ピン（７）平面図

【図５】　畝の上にＵ字形定植位置器具（１）を置いて剣先ピン（７）で一定間隔定植穴を押し開けている状態を示す斜視図

【図６】　畝の上にＵ字形定植位置器具（１）を置いて剣先ピン（７）で一定間隔定植穴を押し開けている状態を示す断面図

【図７】　畝の上に穴を押し開けした所に苗を移植した側面図

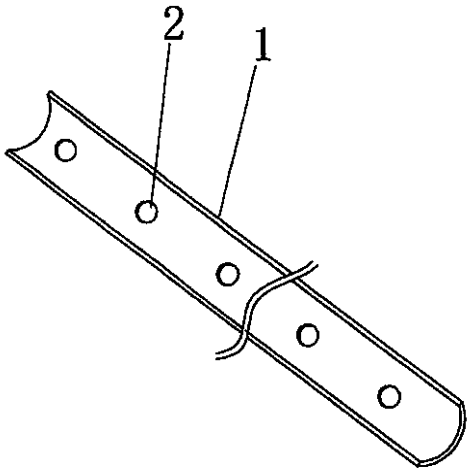
【図８】　畝の上にＵ字形定植位置器具（１）によって種蒔きした畝の平面図と断面図

【符号の説明】

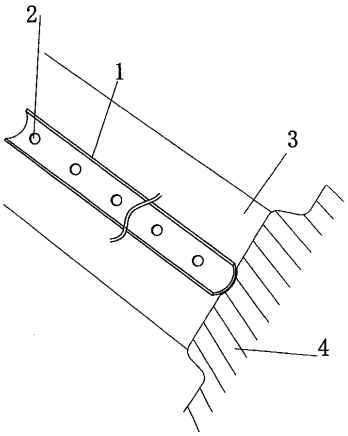
【０００９】

１	Ｕ字形定植位置器具
２	穴（一定間隔に定植する）
３	土を盛り上げた畝
４	畝の断面
５	窪み
６	剣先ピンの断面
７	剣先ピン
８	剣先
９	苗
１０	押し開けた穴
１１	穴跡
１２	種
Ａ－Ａ	畝の断面図
２－１	剣先ピンで刺した穴
２－２	蒔いた種
７－１	剣先ピン押し刺した状態

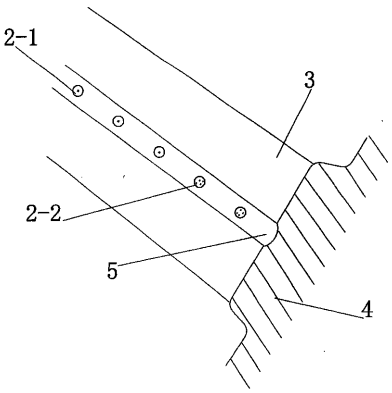
【図１】



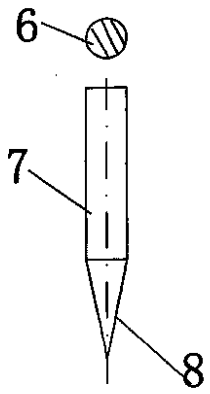
【図２】



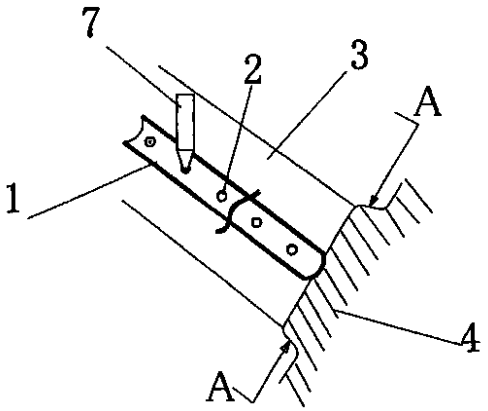
【図３】



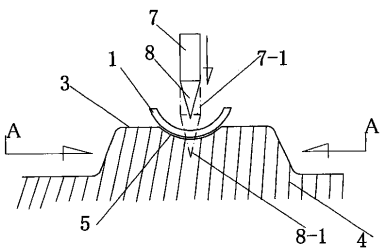
【図４】



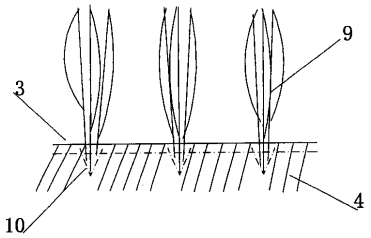
【図５】



【図６】



【図７】



【図８】

